

## 平成 28 年度全国学力・学習状況調査(中学校)

## 数学 A

主として「知識」に関する問題

## 平均正答率

市	63.5%
国	[62.2%]
県	(62.1%)

## 区別定着状況

【数と式】	68.7%	[65.9%]	(65.8%)
【図形】	68.5%	[67.1%]	(67.2%)
【関数】	51.0%	[52.0%]	(51.3%)
【資料の活用】	57.8%	[56.5%]	(57.8%)

※ [ ] 内は全国平均を, ( ) 内は県平均を表します。

## 正答率の高い設問(上位3問)

- $-3 + (-7)$  を計算する  
(問1 (3)) 92.4% [91.6%] (91.2%)
- 方程式  $2x + y = x - y = 3$  から,  $x$  と  $y$  の値を求めるための連立方程式を完成させる  
(問3 (4)) 92.4% [89.7%] (89.9%)
- 比例の表を完成させる  
(問9 (1)) 89.0% [87.9%] (87.6%)

## 正答率の低い設問(下位3問)

- ある郵便物の重さについて, デジタルはかりで表示された値を基に, 真の値の範囲を選ぶ  
(問12 (2)) 21.4% [34.7%] (33.0%)
- ある数を3でわると, 商が  $a$  で余りが2になるとき, ある数を  $a$  を用いた式で表す  
(問2 (1)) 23.4% [32.2%] (33.6%)
- 求められた方法で作図された直線についていえることを選ぶ  
(問4 (1)) 27.6% [30.9%] (30.2%)

## 数学 B

主として「活用」に関する問題

## 平均正答率

市	45.7%
国	[44.1%]
県	(44.8%)

## 区別定着状況

【数と式】	52.6%	[51.5%]	(51.4%)
【図形】	32.4%	[33.3%]	(33.9%)
【関数】	42.2%	[41.4%]	(41.2%)
【資料の活用】	46.6%	[39.3%]	(44.7%)

※ [ ] 内は全国平均を, ( ) 内は県平均を表します。

## 正答率の高い設問(上位3問)

- 最初に決めた数が5のとき, 手順通りに求められた数を書く  
(問6 (1)) 84.1% [76.4%] (76.8%)
- 1試合の時間を16分とすると, 1回の休憩の時間を求める  
(問1 (1)) 81.4% [79.3%] (78.9%)
- A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める  
(問3 (1)) 70.3% [67.4%] (68.8%)

## 正答率の低い設問(下位3問)

- 文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する  
(問6 (2)) 11.0% [15.4%] (14.6%)
- 2つの辺の長さが等しい事を, 三角形の合同を利用して証明する  
(問4 (1)) 19.3% [29.4%] (27.4%)
- $x=4$  のとき  $y=9$  になるように,  $x$  と  $y$  の間の関係を書き加えることについて, 正しい記述を選び, その理由を説明する  
(問2 (2)) 22.1% [20.6%] (23.1%)

## ○考察

数学A, 数学Bともに全国平均を上回っており, これらの学習内容はおおむね定着していると考えられます。

## ○今後の指導について

今後, 数学Aに関しては, 測定値の誤差について, 実感を伴って理解できるようにする指導や, 事柄や数量の関係を図に表したり具体的な数や言葉を使った式を利用したりして関係をとらえさせる指導の充実を図る必要があります。

また, 数学Bに関しては, 処理の手順を数学的に考察して説明させたり, 与えられた条件を整理して事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え, 証明させたりする指導を充実させる必要があります。